

# おすすめ周辺スポット

あわせて近隣観光はいかが？



- 3 肱川あらし展望公園**  
 肱川あらしとは、大洲盆地と瀬戸内海の気温差によって発生した霧が一気に海側に流れ出す現象のこと。公園からは瀬戸内海に浮かぶ島々、長浜大橋などを一望できます。  
 ☎0893-24-1719  
 (大洲市都市整備課都市計画係) 愛媛県大洲市長浜
- 1 大洲城**  
 元弘元年(1331年)鎌倉時代末期に築城されたといわれ、伊予大洲藩の政治・経済の中心地として城下町が栄えました。  
 ☎0893-24-1146  
 愛媛県大洲市大洲903  
 9:00~17:00(礼止16:30)  
 料金:大人550円、  
 小人(中学生以下)220円  
 休業:無休

- 4 大洲の町並み**  
 伊予の小京都と呼ばれる歴史情緒あふれる城下町。撮影地となったドラマにちなんだ「おはなはん通り」が人気。  
 ☎0893-57-6655  
 (大洲観光総合案内所) 愛媛県大洲市大洲
- 2 長浜大橋(赤橋)**  
 県下最大の肱川河口に架かる、現役最古の道路可動橋(バスキュール式鉄鋼開閉橋)。1935年に完成。  
 ☎0893-52-1111  
 (大洲市役所長浜支所 地域振興課) 愛媛県大洲市長浜



ここに注目

## お庭拝見



臥龍院(不老庵側)

不老庵側から見た臥龍院。茅葺屋根の農家風の外観と、内観の贅沢な意匠美のギャップが粋。



未広積み

石積み造成以前から生えていたチシャの木。生きたまま建物と共生しています。



壺是の間

畳をあげれば能の舞台に。音響効果のために、床下には備前焼の壺が並んでいるのだとか。



臥龍院

庇が大きいので、雨の日でも縁側で景色を楽しめます。外側の濡れ縁の木材は梅。



流れ積み

満月のような白石と、奥には舟形の手水。石垣に月見舟を描くという雅な心意がここにも。



清吹の間

別名「夏の部屋」。欄間には「花筏」の透かし彫りが見られ、見た目にも涼を感じさせます。



霞月の間

霞を表す違い棚。丸窓の奥には仏間が控えており、灯明によって月が浮かびます。



よく見たら  
一つ一つに表情がある  
飛び石

川のせせらぎが聞こえる不老庵。借景ならぬ借音？



不老庵



壺是の間

五感ポイント  
聴く

## ひと息どうぞ

### 茶室

#### 不老庵

建物そのものを舟に見立てた不老庵で、肱川を眺めながら至極の一品を。  
 9:30~先着20人(日曜のみ)  
 料金:一服1,100円(創作和菓子付)  
 ※4月~10月(8月除く)のみ営業



一時は庭も鬱蒼としていましたが、全国の庭師さんのおかげで見違えるような姿になりました。昔ここを訪れ最近再訪した方は皆さんびっくりされます。院内のどこを見ても、千家十職の職人芸が光ります。ぜひ細部までご覧ください。



笹山久子さん  
(副支配人)

## せせらぎの畔で楽しむ 借景と意匠美

エメラルドグリーンの水辺が美しい肱川沿いに位置する臥龍山荘。その敵めしい名前の由来は、大洲藩三代藩主加藤泰恒が「蓬萊山が龍の臥す姿に似ている」ことから名付けたといわれています。

豊臣の文禄年間に武家屋敷と庭園が築かれたこの地は、歴代藩主の遊賞地とされ、この山荘は明治時代に貿易商・河内寅次郎が10年以上かけ再興しました。2016年に国の重要文化財に指定、2018年には文化財庭園フォーラムが当地で開催され、全国の庭師の手により再整備されました。これにより蓬萊山や富士山を借景とする往時の美しい姿を取り戻しました。飛び石には全国各地の手鞠石や玄太石、白石をテキスタイルをつくるように配置しています。

また特筆すべきは、千家十職(三千家)に出入りする塗師・金物師などの十の職家)による芸術的な意匠が散りばめられた臥龍院です。おすすめは、襖と襖の間の空間を額縁に見立てて庭園を眺めること。雅趣に富んだ院内から眺める庭園は、額縁効果も相まって日本画のような美しさです。

info. ☎0893-24-3759 愛媛県大洲市大洲411-2 9:00~17:00 料金:大人550円、小人220円 休園:無休 アクセス:大洲南ICから車で約5分 駐車場:大洲まちなちの駅あさもや(無料)

エメラルドグリーンの水辺が美しい肱川沿いに位置する臥龍山荘。その敵めしい名前の由来は、大洲藩三代藩主加藤泰恒が「蓬萊山が龍の臥す姿に似ている」ことから名付けたといわれています。